

ディレクトセン房株式会社

情報共有による納期回答の属人化解消
【導入ツール：Othello Connect】

情報共有による納期回答の属人化解消 — 実証概要 —

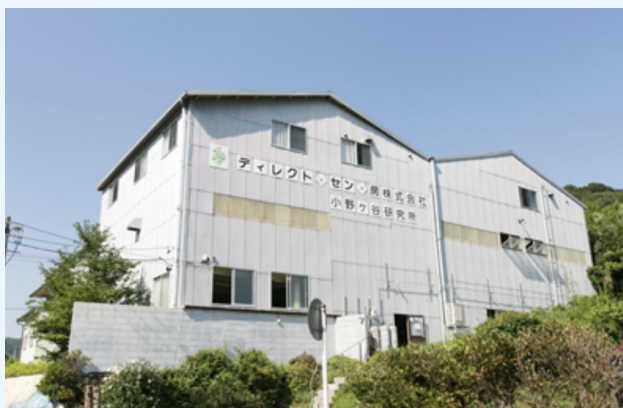
ディレクトセン房株式会社 概要・実証計画【1/2】

企業概要

企業名	ディレクトセン房株式会社
所在地	愛知県西尾市
代表者	代表取締役社長 太田稜馬
資本金	5000万円
従業員数	28名
事業内容	アルミ casting 用の塗型剤、コーティング剤、潤滑離型剤の開発、製造、販売

概要

- 塗装技能講習・施工指導
- 鋳造コンサルタント
- 製品試料解析
- 共同研究



取組概要

<経営課題>

- 製造品ごとに担当が存在し、担当間でのノウハウ共有がなされていないため、受注時に担当不在だと納期回答ができず顧客満足度の低下に繋がっている

<本事業での取り組み概要>

担当間での情報共有をOthello Connectで行うことにより、①担当に依存しない納期回答、②在庫管理工数の削減、③Lot管理工数の削減 を実現する。

実証体制

全体統括	監査役 野々山
実証統括	製造部 副部長 手島
実証担当	製造部 主任 壁谷

情報共有による納期回答の属人化解消の概要

— 実証で利用するデジタルツールと目標設定 —

ディレクトセン房株式会社 概要・実証計画【2/2】

実証で利用したデジタルツール

<デジタルツール概要>

- ・ 名称：Othello Connect（CMA株式会社）
- ・ 説明：生産現場の実績入力を簡素化し、データをリアルタイムに把握することで、工程管理や原価管理を効率化できるデジタルツール

<費用> ※参考価格。契約条件により異なる

- ・ 初期費用：348,000円
- ・ 基本利用料：73,000円／月

<活用方法>

- ・ 在庫管理について、デジタルツールを導入することで在庫確認時間の削減や属人化を解消し、納期回答時間の短縮を実現する。



目標とした主な成果

定量成果

- － お客様への納期回答時間の短縮
- － 社内の納期回答工数の削減
- － 在庫管理工数の削減
- － Lot管理工数の削減
- － 発注業務標準化による発注漏れの削減
- － 発注漏れによる納期遅延の削減
- － 納期回答・確認のたびに発生する製造停止時間の削減

定性成果

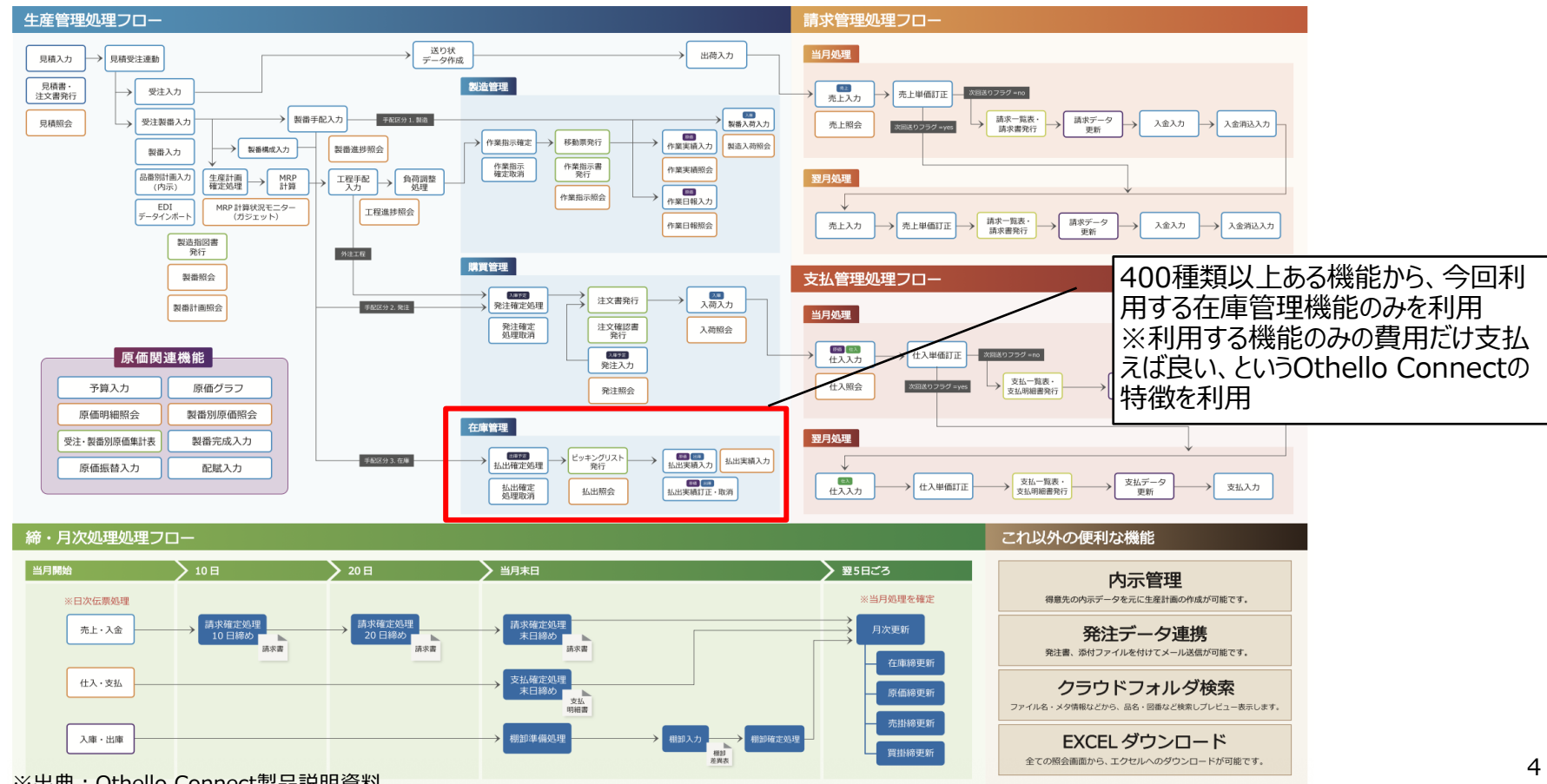
- － 納期回答遅延による受注機会損失の削減
- － 納期回答の標準化（属人化からの脱却）
- － 納期回答に必要な情報の社員間共有
- － 発注業務標準化（属人化脱却）

情報共有による納期回答の属人化解消の実証結果 — Othello Connect による具体的な取り組み事例 —

ディレクトセン株式会社 実証結果【1/5】

具体的な取り組み概要（1）

- Othello Connect の在庫管理ガジェット、在庫キーオプション、作業指示ガジェットを使用し、製品在庫及び原材料在庫情報をデジタルツール上で把握・管理できるようにし、在庫管理に要する時間を削減
- デジタルツール上で在庫情報を共有できるようにし、お客様からの納期回答時間を製品担当以外の社員でも回答できるようにした。



情報共有による納期回答の属人化解消の実証結果

— 取り組み内容と実証過程で明らかになった課題 —

ディレクトセン房株式会社 実証結果【2/5】

具体的な取り組み概要（2）

オセロコネクトを使い検証を実施

項目	部署	内容
商品の在庫を管理	製造部	オセロコネクトで商品在庫管理
商品在庫の入庫	製造部	オセロコネクトへ製造した商品在庫数を入力
商品在庫の出庫	総務部	オセロコネクトへ出荷した商品在庫数を入力
在庫管理データを参照して納期を回答	総務部	オセロコネクトで商品在庫を参照し納期を回答
受注入力	総務部	オセロコネクトへ受注入力

実証過程で生じた課題とその対応策

1. 商品在庫の保管位置と並べ方

【課題】

商品在庫の保管位置や並べ方は製造者の目線で並べていた。この方法では、出荷者（ピッキング者）が場所を把握しにくかったり、間違いやすいことが分かった。

【対応策】

出荷者（ピッキング者）と保管位置や並べ方を話し合って決める。
保管場所が狭く場所が不足しているため、保管場所の拡張を実施する。

生産管理ツールの利用でどれだけ効果があったのか — 定量データに基づく工数削減・費用対効果の試算 —

ディレクトセン株式会社 実証結果【3/5】

取組の成果（１）定量効果

削減効果

項目	現状	改善目標	実績	改善効果	月あたり改善効果	目標到達
お客様への納期回答時間の短縮（２品目分）	1日平均30件×5分	納期回答時間20%以上短縮	5分→3分	40%削減	3,700円 ※削減を費用換算	達成
社内の納期回答工数の削減（２品目分）	1日平均30件×3分 （作業員全員の工数）	納期回答工数75%以上削減	3分→0分	100%削減	5,550円 ※削減を費用換算	達成
在庫管理工数の削減（２品目分）	1日平均30分	在庫管理工数50%以上削減	30分→15分	50%削減	12,000円 ※削減を費用換算	達成
Lot管理工数の削減（２品目分）	1日平均30分	Lot管理工数50%以上削減	30分→15分	50%削減	12,000円 ※削減を費用換算	達成
納期回答・確認のたびに発生する製造停止時間の削減（２品目分）	3分/件×30件/日 =1日平均90分 （作業員全員の工数）	製造停止時間66.7%以上削減 1分/件×30件/日 =1日平均30分 （作業員全員の工数）	3分→0分	100%削減	5,550円 ※削減を費用換算	達成

費用対効果

項目	金額(円)／月
デジタルツール導入における削減効果Total	38,800

項目	初期費用(円)	金額(円)／月
ソリューションコスト	243,600	51,100

※ツール利用料は本実証事業における実績値であり、一般提供価格を示すものではありません。実際の契約価格は利用条件等により異なります。

今回の実証期間では、**対象製品を2品目に限定して検証**を行った。**対象範囲を全品目（300品目以上）へ拡大して適用した場合、業務効率化の効果がより大きくなり、費用対効果としてもプラスに転じることが見込まれる。**

生産管理ツール導入がもたらした変化と今後の挑戦 — 定性効果とDX実現に向けたロードマップ —

ディレクトセン房株式会社 実証結果【4/5】

取組の成果（２）定性効果

デジタルツールの導入による定性効果

1. 納期回答遅延による受注機会損失の削減

納期回答時間削減により機会損失に貢献した可能性はある。

2. 納期回答の標準化（属人化からの脱却）

ツールで在庫情報を管理することにより、納期回答の業務フローを標準化できた。

3. 納期回答に必要な情報の社員間共有

従来個人管理だった在庫情報をツールで共有することを実現できた。

4. 発注業務標準化（属人化脱却）

※今回の実証期間では在庫管理業務までしか進めず、発注業務を検証できなかった。



今後の目標と課題（１）ロードマップ

ロードマップ

	2026年	2027年	2028年
DXのフェーズ	デジタルライゼーションの実現（業務プロセスのデジタル化）	DXに向けた検討・試行	DXの実現
取組概要	デジタルツールの検討、導入、評価	周辺システムとの連携、省力化による業務プロセス改善を検討、試行	デジタル化によるデータを活用した経営判断を実施
実施内容	- デジタルツールを再検討後、本格導入、効果測定 - デジタルツール導入によるデータ蓄積、データ活用を開始	- 他ソリューションとの自動連係を検討、試行 - 試行結果の評価	データを活用した物品調達や人員配置の最適化した状態での業務運用を開始

情報共有による納期回答の属人化解消先にある次の一步 — 今後の課題と、デジタル化に取り組む企業への提言 —

ディレクトセン房株式会社 実証結果【5/5】

今後の目標と課題（2）課題

今後の課題

- 1. デジタルツール選定の課題**
業務形態に応じて適性なツールがあり、それを調査・選定する力が必要。
- 2. デジタルツールを活用できる人材の課題**
デジタルツールを活用し、業務改善できる人材が必要。
- 3. 組織文化の課題**
旧来の組織文化があり、新たな取り組み(挑戦)に対して後ろ向き。デジタルツールを導入することの良さをどう分かってもらい、自分ゴトにしてもらい定着させるか。
- 4. 情報セキュリティの課題**
情報漏洩防止のため、安全なツール選定やルール作りが必要不可欠。



デジタル化を推進する企業へのメッセージ

1. 「人」を理解して進めることが大切。

どれだけ素晴らしいシステムや仕組みを取り入れても、それを使う人たちが使いこなせなければ意味がありません。まずは今までの組織文化を理解し、そこで働く人たちをよく理解することが大切だと思います。その上で新たなシステムや取り組みを取り入れる良さを丁寧に時間をかけて説明し、理解してもらおうとする姿勢がとても重要だと今回感じました。

2. 「スモールスタート&スモールステップ」。

今回、完璧な状態にしてから進めようとして、スタートが遅くなってしまうしました。不完全でもよいのでとりあえず進めた方がよかったと反省しています。また、全ての工程にいきなり適用しようと考えたのが進捗を遅らせてしまった原因。

スモールスタート、スモールステップでとりあえず最小限でスタートし、やりながら改善した方が良かったです。